

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1130		
科目名	文化人類学 2		
担当教員	清水 享		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A 日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚(30%) A2 異文化適応(30%) D1 市民的素養と参加(30%) I1 理解・分析と説明(10%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 2 進学期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	文化人類学がフィールドワークなどの実践的かつ実証的な方法で進められてきた学問であることを考察します。そして文化人類学の研究対象とする範囲は人類の活動のすべてに関わることを理解します。文化人類学の研究は多様化する国際社会の状況や、異文化間で起こりうる様々な摩擦などの問題の核心を的確に把握することを可能にします。本講義は世界中の様々な社会や文化を理解する基礎的な知識とその分析能力を得ることができます。授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためにオンライン授業(オンデマンド型)を取り入れます。 ■キーワード 民族・家族・親族・生業・呪術・宗教・彝族		
授業の趣旨	■副題 民族や親族・家族といった人間の社会関係とそれを成す枠組みや人間が行なう経済的な活動と文化的な活動から人類の在り方を考えます。 ■授業の目的 人間のつくり上げた多様な社会や文化を通して、相対主義的な視点でさまざまな事象を見ることができるようになることと目的とします。 ■授業のポイント はじめに民族やエスニシティについて考察します。そして基本的な社会単位である家族、親族の多様性とそれを構成するための縁組や性とジェンダーの意味づけなどを学びます。また人間が生きていく上で必要な経済活動を生業の多様性と交換の側面から見ていきます。さらに文化		

	的活動である呪術・宗教・信仰や儀礼の多様性についても考えます。さらに社会や文化の実相とその変容について中国のエスニックグループである彝族の実情から読み解いていきます。	
総合到達目標	■文化人類学的視点により、グローバル感覚や異文化適応と市民的素養を身につけ、それらを的確に理解・分析し、説明できるようになる。 ・文化人類学の視点から社会・民族およびジェンダーなどのあり方を学び、これを理解できるようになる。(第1～2回) ・家族・親族・縁組のあり方から、多様な人間の社会の枠組みを理解できるようになる。(第3～5回) ・人間の様々な活動から、その多様性と相対主義的な視点を理解できるようになる。(第6～11回) ・個別の民族事例を学び、文化人類学の視点からさまざまな問題の核心を的確に把握する能力を導くことができるようになる。(第12～15回)	
成績評価方法	■発言・質問・意見交換等の授業参加度 毎回(20%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)授業のテーマを踏まえ、論理的かつ明確に意見を述べることを評価します。 (フィードバックの方法)授業後、1週間で講評・解説をします。 ■リアクションペーパーの提出 毎回(20%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)授業のテーマを踏まえ、論理的かつ明確に意見をまとめ、記述することができるかを評価します。 (フィードバックの方法)提出後、1週間で講評・解説をします。 ■レポート 1回(60%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)レポートにおいて、明確に論点をまとめ、その視座・知識・理解・分析を記述できるかを評価します。 (フィードバックの方法)レポート提出後、レポートについての講評・解説をします。	
履修条件	文化人類学1を履修していることが望ましい。	
履修上の注意点	文化人類学を学ぶことの意義を自身で考えつつ、授業に臨んで下さい。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ：社会・民族・エスニシティ ②授業概要：社会・民族・エスニシティといった概念を学ぶ、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：社会・民族・エスニシティが示すものについて調べる。④復習(120分)：社会・民族・エスニシティの概念について整理する。
	2	①授業テーマ：性とジェンダー ②授業概要：性、セクシュアリティ、ジェンダー、民俗の生殖理論について学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：性、セクシュアリティ、ジェンダーの用語について調べる。④復習(120分)：性、セクシュアリティ、ジェンダー、民族の生殖理論の多様性について整理する。
	3	①授業テーマ：家族の多様性 ②授業概要：世界各地の人間の家族の多様性について学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の家族のあり方を調べる。④復習(120分)：世界各地の家族の形態の多様性を整理する。
	4	①授業テーマ：親族の形態 ②授業概要：世界中に見られるさまざまな親族の形態について学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の親族の形態を調べる。④復習(120分)：世界中の親族の多様性について整理する。
	5	①授業テーマ：縁組の理論 ②授業概要：親族を形成する縁組の理論について学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の縁組について調べる。④復習(120分)：縁組の理論について整理する。
	6	①授業テーマ：人間の生業活動1 ②授業概要：人間の生業活動である採集狩猟について学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の採集狩猟について調べる。④復習(120分)：世界の採集狩猟の生業形態について整理する。
	7	①授業テーマ：人間の生業活動2 ②授業概要：人間の生業活動である牧畜について学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1)

	③予習(120分)：日本の牧畜について調べる。④復習(120分)：世界の牧畜の生業形態について整理する。
8	①授業テーマ：人間の生業活動3 ②授業概要：人間の生業である農耕について学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の農耕について調べる。④復習(120分)：世界の農耕の生業形態について整理する。
9	①授業テーマ：人間の交換活動 ②授業概要：人間の交換活動と経済人類学について学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：経済人類学と経済学の違いについて調べる。④復習(120分)：人間の交換活動と経済人類学について整理する。
10	①授業テーマ：呪術と宗教 ②授業概要：人間の精神活動である呪術、宗教と信仰について学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の宗教信仰について調べる。④復習(120分)：呪術、宗教と信仰の多様性について整理する。
11	①授業テーマ：儀礼とそのシステム ②授業概要：儀礼のシステムと人生儀礼、年中行事について学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：日本の人生儀礼、年中行事について調べる。④復習(120分)：儀礼のシステムと人生儀礼、年中行事の多様性について整理する。
12	①授業テーマ：中国のエスニックグループ、彝族の様相1 ②授業概要：中国の民族の様相について学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：中国の民族の概要を調べる。④復習(120分)：中国の民族の様相について整理する。
13	①授業テーマ：中国のエスニックグループ、彝族の様相2 ②授業概要：彝族の文化の様相について学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：彝族の文化について簡単に調べる。④復習(120分)：彝族の文化の様相について整理する。
14	①授業テーマ：中国のエスニックグループ、彝族の様相3 ②授業概要：彝族の社会の様相について学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：彝族の社会について簡単に調べる。④復習(120分)：彝族の社会の様相について整理する。
15	①授業テーマ：文化人類学から見た文化と社会 授業内テスト ②授業概要：文化人類学のから見た文化と社会についてまとめ、理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：これまで学んだ文化人類学から見た文化と社会についてまとめる。④復習(120分)：文化人類学から見た文化と社会について整理する。
関連科目	文化人類学1(RMGT/SSCS1129)
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	綾部恒雄ほか『文化人類学と人間』三五館、合田濤編『現代社会人類学』弘文堂、奥野克巳ほか『文化人類学のレッスン』学陽書房、祖父江孝男『文化人類学入門』中公新書。授業中に参考プリントを配布します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 水曜3時限。それ以外も研究室在室時に対応することもできます。
研究比率	

